

「令和4年度小樽市内保育施設歯科保健事業まとめ」より抜粋

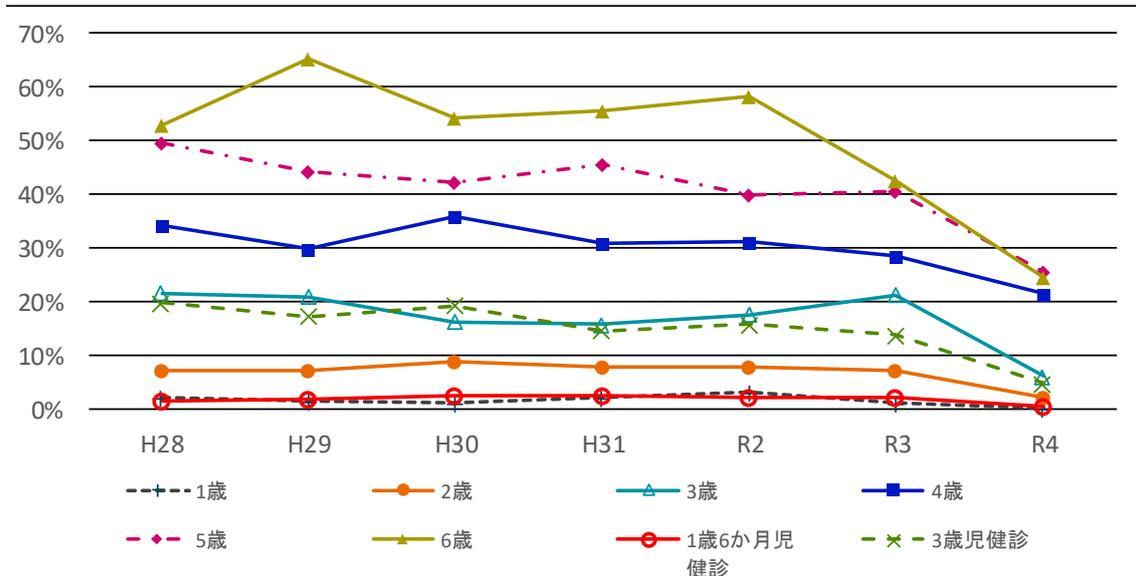
保育施設児のむし歯有病者率の年次推移

むし歯のある児の数は年々減少しています。年長児の全国値は、約30%です。歯科健診受診率の減少もあるため、正確な結果を反映していない可能性も考えられますが、状態を維持できるとよいですね。

保育施設児と小樽市乳幼児歯科健診児のむし歯有病者率の年次推移

年 年度	1歳 (%)	2歳 (%)	3歳 (%)	4歳 (%)	5歳 (%)	6歳 (%)	1歳6か月児 健診 (%)	3歳児健診 (%)
H28	2.1	7.2	21.7	34.2	49.6	52.9	1.6	19.8
H29	1.4	7.1	21.0	29.8	44.4	65.3	1.7	17.3
H30	1.0	8.8	16.3	35.9	42.3	54.3	2.4	19.2
H31	2.0	7.9	15.8	31.0	45.6	55.7	2.4	14.6
R2	3.1	8.0	17.6	31.2	40.0	58.3	2.2	15.8
R3	1.0	7.3	21.3	28.7	40.7	42.6	2.2	13.7
R4	0.0	2.0	6.0	21.5	25.6	24.6	0.4	4.7

※1歳6か月健診と3歳児健診のR04年度データは、10月末のもの。

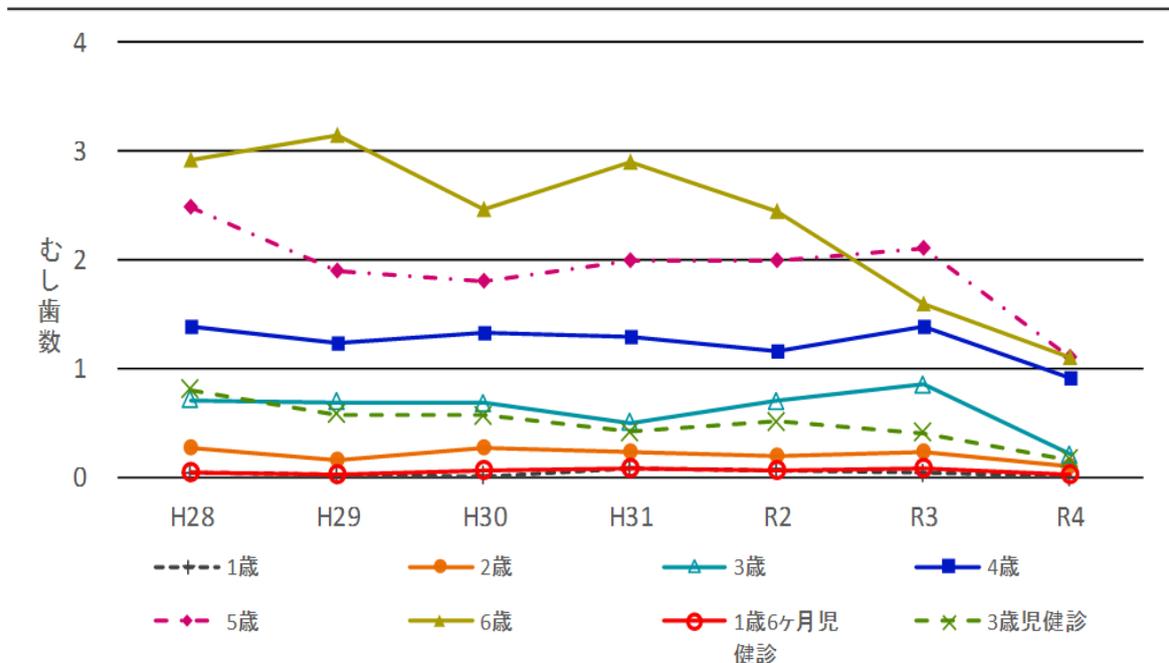


保育施設児の一人平均むし歯数の年次推移

平成15年度より、各年齢のむし歯の数を調べています。4歳児以降はむし歯が増えることが知られており、この時期の口腔衛生を保つことは、学童期のむし歯予防に繋がります。

保育施設児と小樽市乳幼児歯科健診児の一人平均むし歯数の年次推移

年 年度	1歳 (歯数)	2歳 (歯数)	3歳 (歯数)	4歳 (歯数)	5歳 (歯数)	6歳 (歯数)	1歳6ヶ月児 健診 (歯数)	3歳児健診 (歯数)
H28	0.03	0.26	0.71	1.39	2.48	2.91	0.04	0.80
H29	0.02	0.16	0.69	1.24	1.89	3.13	0.02	0.57
H30	0.01	0.27	0.68	1.33	1.79	2.46	0.05	0.56
H31	0.08	0.22	0.50	1.28	1.98	2.89	0.08	0.41
R2	0.06	0.19	0.70	1.16	1.99	2.44	0.05	0.51
R3	0.03	0.22	0.85	1.38	2.09	1.59	0.07	0.40
R4	0.00	0.10	0.20	0.90	1.10	1.10	0.02	0.16



保護者からの口くうに関する困りごと相談

保護者からの書面相談の結果です。R4年度は「歯並びについて」の質問が最多数でした。

1. 書面相談の年次推移(平成15年度より開始)

(対象数は、相談票の配布数)

	H28	H29	H30	H31	R02	R03	R04
対象数	1,440	1,439	1,460	1,392	1,301	1,233	1,191
相談数	308	300	301	284	266	209	194
%	21.4%	20.8%	20.6%	20.4%	20.4%	17.0%	16.3%

2. 保護者からの相談割合(児童の年齢別)

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	計
対象数	60	197	244	211	202	213	64	1,191
相談数	6	42	40	38	32	27	9	194
%	10.0%	21.3%	16.4%	18.0%	15.8%	12.7%	14.1%	16.3%

今年度は、1歳児の保護者からの相談割合(21.3%)が一番多い状況でした。

3. 保護者からの相談割合(相談内容の上位5項目と占有率)

内容	①	②	③	④	⑤	左記以外	合計
延件数	44	22	60	49	13	62	250
%	17.6%	8.8%	24.0%	19.6%	5.2%	24.8%	100%

- ① むし歯のこと
- ② 歯の色、形態などのこと
- ③ 歯並びのこと
- ④ 歯磨き(フロス、歯ブラシを含む)、うがいのこと
- ⑤ 悪習癖のこと(指しゃぶりなど)

